

# 修善寺山頂ライブ in 夢造作 VOL. 26

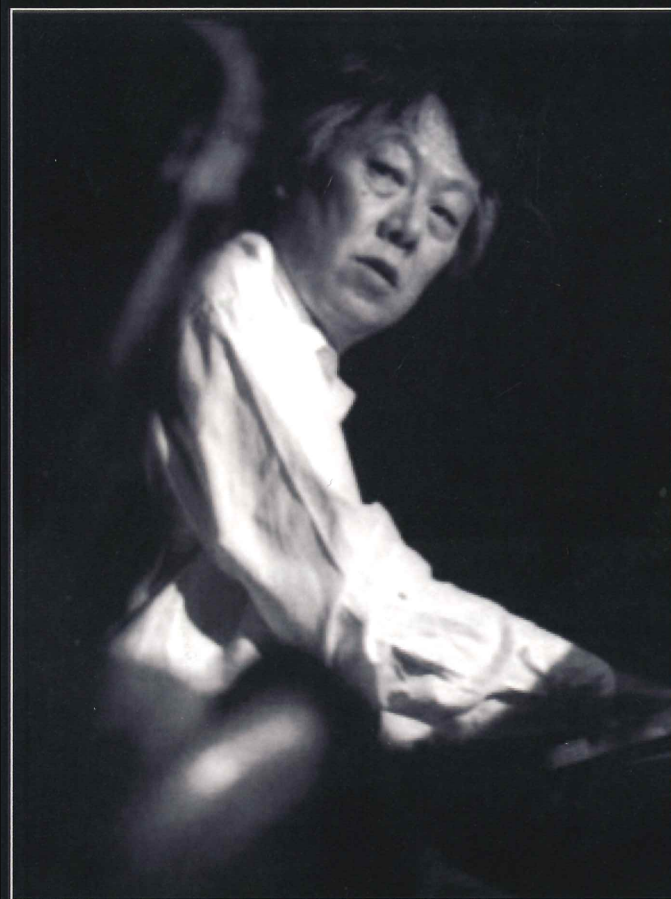
ジャズピアノ×シタール・・・記憶の奥底へ

2017/5/13(土曜日)

17:00会場

18:00開演

ピアノ・大口純一郎



シタール・伊藤 公朗

会場：WOODBBOX 夢造作・伊豆市修善寺4280-11

ライブのみ：¥3000、オリジナルプレート付：¥4000

予約：0558-72-0622

担当・渡辺 090-8554-5420

会場地図



伊豆箱根鉄道・大仁駅よりの送迎を致します。御希望の方はTELにて御相談ください!

## 大口純一郎 piano プロフィール

1949年、東京生まれ。

幼少時代はロンドンに在住し、クラシックに親しむ。

大学時代より、ビル・エバンス、アントニオ・カルロス・ジョビンに影響を受け、JAZZ、ブラジル音楽を始める。東工大卒業後、1974年にプロ入り。以後、渡辺文男を始め数多くのグループで演奏。

1977年にはフランク・ウエス(テナーサクソ)と共演したリーダーアルバム「OLD FOLKS」をリリース。またJAZZの活動に留まらず、加藤登紀子、小野リサのピアニスト、アレンジャーとして活躍するなど、多方面で才能を発揮。

2001年、イーストワークスエンターテインメントより、リーダーアルバム「BIG SMILE」をリリース。リリカルで豊かな個性溢れるインプロビゼーションは高い評価を得ている。また小野リサのアレンジを手がけるボサノバフリークとしての彼の一面も楽しめる仕上がりとなっている。

2002年発行のジャズ批評113号「ピアニスト最前線」では、多くの世界のピアニストが挙げられる中、わずかな日本人ピアニストとして選出され「実力者として信頼される名手」と絶大な評価を得る。

現在も、全国のライブハウス、ホール、JAZZフェスティバル等で個性溢れる演奏を披露し、精力的な活動を展開している。日本を代表するピアニスト。

2009年11月、初のピアノソロCD "Plays Solo Piano"、2010年12月、トリオの新作、"Tarde" (タルジ)を、共に anturtle tune よりリリース。

## 伊藤公朗 シタール プロフィール

1977年、インドヒマラヤのガンジス河上流の聖地バドリナートで、高名な聖者である音楽修行僧・ナーダヨギ D.R.Parvatikar 師に外国人として唯一弟子入り。聖者と共にインド国内の聖地を巡礼しながら、インド古典音楽とシタールを学び、5年間の音楽修行僧生活を送る。1982年デカン高原の古都ハイデラバードに移り、ナーダヨギの師匠の孫にあたる州立音楽院教授シタール奏者 K.Atmaram 氏に師事。8年間のインド滞在を終え、85年帰国。現在インド以外、外国人で唯一の故ナーダヨギの教えを受け継ぐシタール奏者として、伊勢神宮内宮ほか多方面でインド音楽の深淵さを伝えている。

### ★シタールの説明

シタールは北インド発祥の弦楽器。主奏弦が6~7本その他に共鳴弦が11~13本、フレットは可動式で共鳴胴は通常瓢箪もしくはウウガオの味を乾燥させたもので作られる。

インド音楽は約束ごとを厳守しながらの即興演奏で、静かに流れ始めるシタールの旋律が少しずつ速度を増し、やがて頂点にたどり着いたところでスリリングにドラマティックにラーガを終える。その即興性でジャズにも通じる音楽とも言われている。